

「水の大切さ」

一箕小学校 六年 レディングトン 咲桜

「そんなに水、出しっぱなしにしないでよ。」

お母さんは、アメリカにいた時いつも、

そう言っていました。私は、なんで、そんな

に出しっぱなしにしてはいけないのだろう、

とずっと思っていました。でも、その理由を

日本に引っこしてから理解しました。

私は、ハオの時、アメリカのユタ州と言う

所から日本へ引っこしてきました。ユタ州は、

砂漠地帯で、とても乾燥しています。雨は、

めったに降らず、いつも水不足です。私は、

小さいころ、雨の日、かさをさすことに、あ

こがれていました。そのくらい、雨は降りま

せんでした。もちろん、水も飲めたり、水道

水も自由に使うことが出来ます。が、お庭の

水やりをしてくれるスプリンクラーは、使え

る曜日が決まっています。そのため、スプリ

ンクラーを毎日、作動させてはいけません。

その曜日が決まっているのは、水の節約する

ためでした。そんな風に、ユタ州は、雨もほとんど降らず、海からはなれているため、水のことで注意されたり、せい限が、あったりなど、水を意識する生活は、私にとって生まれてからず、とあ、たので、今思うと、あたりまえに思、て、生活していました。

私が、日本に引、こして来てから、水についておどろいたことが、いくつもあります。

一つ目は、雨の量がとても多いことです。こんなに雨が降ることは、見たことがなかった。

です。そこで私が、気づいたのは、日本は、木など植物の緑がとても多いことでした。ユタ州では、砂漠に生える植物が生えていても、茶色い植物がほとんどで、山も茶色で高い植物はありません。私が初めて、日本の山が緑なのを見た時は、とても感動しました。また、水の量によって、周りの植物などの環境がこんなに変わるのにおどろきました。二つ目は、シャワーの水が出る強さです。アメリカでは、シャワーの出てくるいきおいが弱かったため、

それがふつうだと思っ
ていたので、とてもお
どろきました。三つ目
は、毎日のようにお風
呂に入ることが出来
ることでした。アメリ
カにいたときは、私の
家では、水の節約のた
め、お風呂にはあまり
入らず、毎日シャワー
で終わらせていました。
なので、水のことを気
にせず、毎日お風呂に
入ることが出来る生活
は、私にとっては、うれ
しいことでした。

生活とは、全くちが
い、今では、水の使い
方をあまり意識するこ
となく生活していまし
た。このまま、水のこ
とを気にせず水を無
駄使いしていたら、日
本も水不足になってし
まうかもしれません。日
本は、まだ水がたくさ
んあります。日本は世
界の中の国に比べて、
とても水にめぐまれて
いると思います。その
ため、日本では、水を
意識する機会はまだあ

なく、水のせい限がかかった生活は、想像し
にくいかもしれません。色んな環境問題や環
境変化によって、日本も水に困ってしまう日
がくるかもしれません。なので、私は、今ま
での生活を見直して、じゃ口を使っていない
時は、すぐに閉めたり、水を全開にしないで
使うなど、自分にできることは、全てやるよ
うに心がけようと思います。そして、一人一
人が水の大切さを考え、無駄に水を使わない
ようにすることが大切だと思います。